

# がんばった音楽会。



音楽会にお越し頂きありがとうございました。久しぶりに、合奏と歌を生演奏で聴いていただくことができ、とても感慨深かったです。おうちの方からは、「楽しそうに歌っていた。」「堂々と演奏していた。」「演奏がそろっていて、成長を感じた。」などの感想を頂き、子どもたちもとても喜んでいました。

今年は、合奏を音楽専科、合唱を担当が主に進めていきました。合奏では、リコーダーが出来なかったので、鍵盤楽器や打楽器を使って演奏をしました。子どもたちは、毎日というほど、休み時間も練習に励み、私が指揮を始めたときには、ほぼ出来ていて、とても安心して指揮をすることが出来ました。子どもたちのがんばりがよく出ていたかと思います。

合唱は、昔からよく歌われていた「怪獣のバラード」にしました。なんとなく、3年1組の元気な雰囲気合っているかな、と思ったので（笑）。これは、ホ長調（ミから始まる曲）の音域が高い演奏から、ハ長調（ドから始まる曲）の音域が低い演奏があって、子どもたちが歌ってみて「どっちがいい？」と聞くと、「きれいな声で歌いたいから高い方がいい。」という意見と、「元気に歌いたいから低い方がいい。」という意見に真っ二つに割れてしまいました。そこで、いろいろ探してみると、中間の二長調（シから始まる曲）が見つかりました。しかも、私が伴奏出来そうな少し簡単な伴奏も見つかり、当日のような形となりました。

最初は「怪獣」に合った元気な声、でも、二部合唱の所は響く声で、と子どもたちと考えながら毎日歌いました。また、曲のイメージが浮かぶように、自分が歌いたい怪獣のイメージを絵にも描きました。「海が見たいって旅に出たけど、住んでた砂漠にさよならするから泣いているんだよね。」「でも、『新しい』っていうところは、希望をもって歩いているようだね。」と自分の絵や友だちの絵を見ながら、歌詞の意味を考えて歌いました。当日は、いつもより緊張していた感じがしましたが、怪獣の気持ちになって、一生懸命に歌っている姿を見て頂けたのでしたら、幸いです。私も、裏方として一緒に演奏できたので、とても楽しかったです。